TG-6 工一郎 取扱説明書

WD637900

この度は当社の工事現場用デジタルカメラ「TG-6 工一郎」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、「TG-6 工一郎」独自の機能と操作方法をまとめたものです。TG-6 取扱説明書とあわせてお読みいただくことで、さらに便利にお使いいただけます。
「TG-6 工一郎」に関する最新情報は、工事写真関連サイト（https://olympus-imaging.jp/product/construction/）でご確認ください。

■ 重要なご案内　商品設計・保証に関する注意事項

以下の点につきまして、必ずご一読いただき、ご承諾の上でご使用ください。なお、カメラ本体を包装している袋に貼られた開封済みシールを剥がす、もしくは破いた時点で、以下の項目に同意していただいたものとします。

① カメラ本体は、汎用デジタルカメラとして開発・製造・販売しております。特定の使用目的のために、機械的性能が特別に考慮された製品ではありません。
② カメラに内蔵の GPS 機能および電子コンパス機能は、精度を求める使用を想定した機能ではないため、いかなる場合においても測定した値（緯度経度、方角など）に対して保証いたしません。
③ オリンパス保証規定に定められている保証を除き、本製品の使用または使用不能によって生じるいかなる損害（損失利益、作業の中断、作業、作業情報の損失、その他の時間的・金銭的損失等）も補償いたしません。

■ 工事現場トータルサポート保険の登録手続きについて（購入後 30 日以内）

工事現場トータルサポート保険（動産総合保険）は TG-6 工一郎**ご購入後３０日以内に登録手続き（無料）が必要**となります。**ご登録が無い場合には、補償の対象となりません**ので、ご注意ください。詳細は別紙の「工事現場トータルサポート保険（動産総合保険）登録のご案内（無料）」をご覧ください。

■ 主な同梱品

デジタルカメラ	TG-6 取扱説明書
TG-6 工一郎取扱説明書（本書）	保証書
保険登録のご案内	保険登録申込書
リチウムイオン電池 (LI-92B)	USB-AC アダプタ (F-5AC)
USB ケーブル	シリコンカメラジャケット*
ストラップ	

* 脱着方法は、シリコンカメラジャケットに添付の説明書をご確認下さい
* 使用上の注意事項については、製品ホームページをご確認下さい

■「TG-6 工一郎」の独自の機能について

日付設定忘れ防止

- カメラの日付と時刻が設定されていない場合には、カメラ電源 [Off] 以外の操作を行うことができません。撮影の前に日付と時刻を設定してください。（TG-6 取扱説明書 P.19, P.94）

ご注意

- 設定できるのは日時のみです。地域、タイムゾーンは設定できません。

日時・地域・表示言語の設定について（TG-6 取扱説明書 P.19、P.94）

- 「TG-6 工一郎」は、日時のみ設定可能です。
- 地域、タイムゾーン、表示言語については、設定できません。

カード入れ忘れ警告

- メモリーカードを入れていない場合、撮影待機画面に［カードを認識できません］と表示されます。また、撮影可能枚数表示（TG-6 取扱説明書 P.23）は朱色で「0」と表示されます。

モードダイヤルを「P・A」または「SCN」* に合わせて使用することにより、工一郎の独自機能を使用する事が出来ます。他のモードでは独自機能の使用に制限がかかります。
撮影モードの内容については、TG-6 取扱説明書 P.27 を参照ください。
*「SCN」選択時、［階調］は使用できません。

MENU ボタンを押すと、「TG-6 工一郎」の独自機能のうち、以下の機能の設定が行えます。
＜工事メニュー＞

※上記メニューから、▷ または ⓚ ボタンで設定の操作が行えます。一部機能はライブコントロールからも設定できます。

※以下のメニューを「TG-6 工一郎」では設定（選択）できません。
言語　タイムゾーン

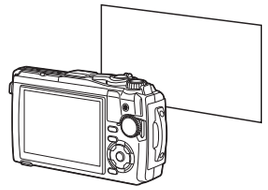
ワンタッチホワイトバランス（TG-6 取扱説明書 P.54）

ワンタッチホワイトバランスはオートホワイトバランスなどで調整しきれない微妙な色合いを設定します。撮影する光源で照らされた白い紙などにカメラを向けてホワイトバランスを測定することにより、実際の撮影状況に最適なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。
ワンタッチホワイトバランスは４つまで登録できます。
［工事写真クリアモード１］、［工事写真クリアモード２］、［工事写真クリアモード３］などとあわせて使用すると効果的です。

1 △▽ で［工事メニュー］から［ワンタッチホワイトバランス］を選択して、ⓚ ボタンを押します。

2 △▽ でサブメニュー１の中の［ワンタッチ 1］（1）～［ワンタッチ 4］（4）のいずれかを選択して、▷ を押します。

3 カメラを白い紙などに向けます。



- 紙は画面いっぱいになるように置き、影の部分ができないようにしてください。
- この操作は、実際に撮影する光源下で行ってください。

4 シャッターボタンを押します。

5 △▽ で［実行］を選択し、ⓚ ボタンを押してホワイトバランスを登録します。

- 登録されたホワイトバランスは、プリセットホワイトバランスのひとつとして、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。
- 手順２で［ワンタッチ１］（1）～［ワンタッチ４］（4）のいずれかを選択した後に ⓚ ボタンを押しても、ホワイトバランスは登録されません。

こんなときは

シャッターボタンを押したら［WB 取得の推奨範囲を超えています。］と表示された

➜ 測定されたホワイトバランスが推奨範囲を超えています。白い部分の面積が足りない、明るすぎる、暗すぎる、または極端な色味がついているため、正しい色合いで撮影できない可能性があります。再度、手順２からやり直すことをおすすめします。

登録済みのワンタッチホワイトバランスに設定したい

➜ TG-6 取扱説明書 P.53 の [ホワイトバランス] で説明されている手順に従って、［ワンタッチ 1］～［ワンタッチ 4］のいずれかを選択してください。

ご注意

- 特殊な光源下では、ホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- 登録の際は、あらかじめ SCN モードの選択やフラッシュの発光禁止の設定を済ませてから行ってください。（登録時と撮影時の設定が異なると、撮影画像の色調が崩れる場合があります）
- ホワイトバランスの選択ができない撮影モードでは、ワンタッチホワイトバランスは使えません。

階調

逆光などで暗くなっている部分を明るく補正する機能です。

1 MENU ボタンを押し、△▽ で［階調］を選択して、ⓚ ボタンを押します。

2 △▽ で [オート]、[標準]、[ハイキー] または [ローキー] を選択して、ⓚ ボタンを押します。

- [標準]、[ハイキー]、[ローキー] を選択した時は自動補正しません。
- 各設定の違い

オート	画像を細かい領域に分けて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗の差の大きい画像に有効です。
標準	通常は［標準］に設定してください。
ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。
ローキー	暗い被写体に適した階調にします。

3 MENU ボタンを押して設定を終了します。

静止画録音

1 MENU ボタンを押し、△▽ で［静止画録音］を選択して、ⓚ ボタンを押します。

2 △▽ で [On] または [Off] を選択して、ⓚ ボタンを押します。

[On] の場合、撮影後、自動的に 4 秒間録音します。
（撮影メモとしてコメントなどを録音すると便利です）

ご注意

- 録音するときは、カメラのステレオマイク（TG-6 取扱説明書 P.11）を音源に向けてください。
- ［カスタムセルフタイマー］の［撮影枚数］は 1 枚に固定されます。
- 以下のモードでは、［静止画録音］は使えません。
  - （水中モード）の［水中 HDR］
  - （顕微鏡モード）の［フォーカス BKT］、［深度合成］
  - 「SCN」の［手持ち夜景］、［HDR 逆光補正］、［e ポートレート］、［パノラマ］、［ライブコンポジット］
- （撮影メニュー）の［Focus BKT］（TG-6 取扱説明書 P.85）が［On］になっているとき、［静止画録音］は使えません。
- ［ドライブ］が［連写 H］、［連写 L］、［プロキャプチャー］に設定されているとき、または［インターバル撮影設定］が［On］に設定されているときも、［静止画録音］は使えません。
- スマートフォン用アプリ OLYMPUS Image Share（OI.Share）で［リモコン］の［ライブビュー］では、録音されません。［ワイヤレスレリーズ］をお使いください。

簡単 CALS

- 簡単 CALS を [CALS H] または [CALS] にした場合、カメラ起動時に国土交通省デジタル写真管理情報基準で指標とされている画像サイズ（CALS H/ CALS）と圧縮率（[ノーマル]）に設定されます。
- 簡単 CALS を [Off] にした場合は、カメラの電源を切る直前の画像サイズと圧縮率に設定されます。

1 MENU ボタンを押し、△▽ で［簡単 CALS］を選択して、ⓚ ボタンを押します。

2 △▽ で [CALS H]、[CALS] または [Off] を選択して、ⓚ ボタンを押します。

3 MENU ボタンを 押して設定を終了します。

ご注意

- 「SCN」の［現場写真をとる］の［パノラマ］では、画像モードが［CALS］に設定されている場合でも、合成後の画像のファイルサイズが約 3M（1920 × 1440）を超える場合があります。

© 2019 OLYMPUS CORPORATION
Printed in China

発行日 2019.04.

ファイルネーム編集

画像のファイル整理に便利なようにファイル名の一部を変更できます。
Pmdd9999.jpg
→ OFF、A～Z、0～9に変更できます。

1 MENU ボタンを押し、△▽で [ファイルネーム編集] を選択して、OK ボタンを押します。

2 △▽で［sRGB］または［Adobe RGB］を選択して、OK ボタンを押します。

3 △▽で1文字目を選択し、▷で2文字目に移動します。

4 同様の操作を4文字目まで繰り返し、最後に OK ボタンを押します。

5 MENU ボタンを押して設定を終了します。

- 以降の撮影時で、ファイル名が設定した内容に変わります。
- ［Off］を選択した場合は、1文字目が「P」、2文字目は撮影月、3文字目、4文字目は日付になります。
- デジタル写真管理情報基準のファイル命名規則を満たすために、以下の点にご注意ください。
  - ［カラー設定］を［sRGB］に設定した場合は、1文字目を「P」に設定してください。
  - ［カラー設定］を［Adobe RGB］に設定した場合は、1文字目は「_」に固定されるため、ファイル命名規則を満たすことができません。

オリジナル画像判定

撮影画像および撮影日時に対する編集・加工の有無を判定する情報を撮影画像に付加します。ただし、カメラ上では編集・加工の有無を判定できません。編集・加工の有無の判定は、ソフトウェアを使用します。詳細と最新情報を、工事写真関連サイト（https://olympus-imaging.jp/product/construction/）でご確認ください。

1 MENU ボタンを押し、[オリジナル画像判定] を選択して、OK ボタンを押します。

2 △▽で [On] または [Off] を選択して OK ボタンを押します。

- [On] を選択した場合は、判定を可能とする情報を付加します。
- [Off] を選択した場合は 、判定を可能とする情報を付加しません。

3 MENU ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

- ［オリジナル画像判定］を［On］にすると、以下の機能は選択できません。
  - 連写（TG-6 取扱説明書 P.42）
  - プロキャプチャー（TG-6 取扱説明書 P.44）
  - Focus BKT（TG-6 取扱説明書 P.85）
- 以下のときは［オリジナル画像判定］は選択できません。
  - （水中モード）の［水中 HDR］
  - （顕微鏡モード）の［フォーカス BKT］、「深度合成」
  - 「SCN」の［手持ち夜景］、［HDR 逆光補正］、［e ポートレート］
- ［ピクチャーモード］が［e ポートレート］または［ART］の場合、［オリジナル画像判定］を［On］にすると、［ピクチャーモード］は自動的に［Natural］に設定されます。ただし［Natural］から以下の設定に変更することができます。
  ［i-Finish］、［Vivid］、［Natural］、［Flat］、［Portrait］、［モノトーン］、［カスタム］
- パソコンへの取り込み方法によっては、データの一部が書き換わるため異なる判定結果が出る場合があります。［オリジナル画像判定］機能を使用する場合は、下記の方法で画像を取り込んでください。詳しくは当社サポートサイト（https://cs.olympus-imaging.jp/）をご覧ください。

【取り込み方法】

1）カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを USB 接続します。（TG-6 取扱説明書 P.116）
2）表示された画面で［ストレージ］を選択して OK ボタンを押します。
3）カメラがパソコンに「リムーバブルディスク」として認識されるので、「リムーバブルディスク」から画像をパソコンにコピーしてください。

SCN（シーン）モードについて（TG-6 取扱説明書 P.28）

「SCN」の［現場写真を撮る］を選択すると、以下のサブモードを選択できます。
［工事写真クリアモード1］、［工事写真クリアモード2］、［工事写真クリアモード3］、［屋内撮影］、［スローシャッター］、［資料モード］、［パノラマ］
撮影現場での状況にあわせて使用することで、簡単にクリアな画像が撮影できます。

次のような状況に便利です

- トンネルの坑道内など、ほこりが多く薄暗い場所や、屋外撮影時の降雨雪時。（フラッシュがほこりや雨に反射して、被写体が隠れてしまう場合）
- フラッシュ撮影したとき、黒板の文字やコンベックスの目盛りなどが白飛びしてしまう場合。

［工事写真クリアモード1］、［工事写真クリアモード2］、［工事写真クリアモード3］を選択すると、フラッシュは［発光禁止］になり、浮遊物の写り込みが少ない撮影が可能です。
また ISO 感度が自動的に高くなりますので、三脚を使わずに撮影できます。

- ［工事写真クリアモード］　各モードの違い

項目	ISO 感度	注意事項
工事写真クリアモード1	最大 3200	・手ぶれを起こしてしまう場合は、工事写真クリアモード2を使用すると手ぶれが防げる場合があります。
工事写真クリアモード2	最大 6400	・ISO 感度が高くなり画像が粗くなるので、使用目的に適した画質になっているか、再生して確認してください。
工事写真クリアモード3	最大 1600 + 階調補正	・工事写真クリアモード1と比較して、暗い部分を明るく補正するので、明暗差の激しい現場に適します。 ・晴天の屋外など、明るい場所で撮影すると、画像全体が白っぽくなることがあります。

- 三脚を使った夜間の撮影時には [スローシャッター] の使用が便利です。あわせてセルフタイマーを使用（TG-6 取扱説明書 P.42）すると、シャッターボタンを押した時のカメラのぶれを防ぐことができます。
- [資料モード] は、A4 サイズや A3 サイズの資料や図面など印刷物の撮影に適したモードです。
- [パノラマ] は、画角の広い画像を撮影できます。

ご注意

- ［工事写真クリアモード1］、［工事写真クリアモード2］、［工事写真クリアモード3］では一部の機能は選択できません。
- 撮影時に壁に寄りかかるなど、体を固定するとぶれを防ぐことができます。
- ［工事写真クリアモード2］で撮影しても手ぶれが発生する場合は、三脚を使用してください。
- ［工事写真クリアモード1］、［工事写真クリアモード2］、［工事写真クリアモード3］、［スローシャッター］、［資料モード］、［パノラマ］はフラッシュが発光禁止になるので、光がまったく入らない場所では適した画像を撮影できません。フラッシュが発光するほかの SCN（シーン）モードを選択してください。

写真振り分け（対応ソフトウェア利用時）

TG-6 工一郎で撮影した写真を、写真振り分け機能を使用して簡単にフォルダに振り分ける事ができます。
この機能を使うと、△が［写真振り分け］のショートカットになります。* （露出補正）の設定をするときはコントロールダイヤルをまわして設定してください。（TG-6 取扱説明書 P.40）
* 撮影モードが **A**（A モード）のときは、ショートカット設定はできません。

写真振り分け機能を使用するには、写真振り分け機能に対応したソフトウェア「蔵衛門 御用達 12」～「蔵衛門 御用達 17」（別売）が必要になります。
あらかじめ対応ソフトウェアで「振り分け情報」や振り分けるフォルダを設定しておくと、撮影後の写真振り分けが簡単に行えます。
対応ソフトウェアの操作方法については、各ソフトウェアのサポート窓口にお問い合わせください。
※対応ソフトウェアは「蔵衛門 御用達 １２」以降となります。お使いのバージョンによって機能が異なります。最新情報を、工事写真関連サイト（https://olympus-imaging.jp/product/construction/）でご確認ください。

1 カードをパソコンにセットします。蔵衛門 御用達 12 以降を起動し、[工一郎連携] の［写真振り分け情報作成］を選んで 、フォルダ振り分け情報を設定します。［SD カードへ振り分け情報を保存］を選択して、設定した振り分け情報をカード内に保存します。

（詳細は蔵衛門 御用達のマニュアルまたはウェブサイト https://olympus-imaging.jp/product/construction/ をご覧ください）

2 設定したカードを「TG-6 工一郎」に入れ 、電源を入れます。

3 MENU ボタンを押し、△▽で [写真振り分け] を選択して、OK ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。
- 撮影待機状態で△を押しても写真振り分け機能を選択できます。

4 ▷を押します。

- あらかじめパソコンで設定した情報（フォルダ）が表示されます。

5 △▽で4で表示された情報（フォルダ）を選択して◁▷を押します。

隣り合う1, 2, 3, …番目の情報（フォルダ）に移動できます。

6 OK ボタンを押して、確認画面に戻ります。

7 OK ボタンを押して、振り分け情報の設定を終了します。

決定した振り分け情報が、撮影する写真のデータに付与されます。

8 撮影後、カードをパソコンにセットします。蔵衛門 御用達の［工一郎連携］から［写真をフォルダに振り分け］を選択します。画面の指示に従って操作することで 、写真がパソコン内のフォルダへ自動で振り分けられます。

ご注意

- お使いの対応ソフトウェアのバージョンによって、設定できるフォルダの数や文字の種類が異なります。
- フォルダ名として使用できる文字は JIS 第1水準漢字、半角英数字、半角記号、全角ひらがな・カタカナ、半角カタカナ、一部の記号（JIS 漢字コード（JIS X 0208）のうち1～2区）のみとなります。
- 写真振り分け情報に TG-6 工一郎で表示不能な文字が使用されている場合は、その文字の部分が「空白」になります。ただし、パソコンに写真を取り込んだ際には、フォルダ名は設定された通りに表示されます。
  TG-6 で表示できない文字の例：
  ギリシア文字、ロシア文字、罫線記号、①②③などの丸文字、㊤㊦㈱㈲などの囲い文字、№．㏍．℡などの省略文字、㍻ ㍼ などの年号、㌔ ㍍ ㎞ ㎡などの単位記号、ⅠⅡⅢなどのローマ数字、機種依存文字など

罫線表示（TG-6 取扱説明書 P.96）

［表示罫線選択］で［方眼］を選択したときは朱色の 25 分割罫線、［黄金分割］を選択したときは灰色の黄金分割罫線になります。

ご注意

- 撮影情報表示で詳細表示を選択してもヒストグラムは表示されません。

画質モード（TG-6 取扱説明書 P.56）

画像サイズは L/CALS H/CALS から選べます。